



MHKS presents Heart Warming Concert No.50

田原さえの世界 in N-oval

～*Aimez-vous Chopin?* ショパンはお好き?～

All Chopin Program

2022 3.6 [sun]

N-oval 音楽サロン

Start 14:00 [Open 13:30]

Ticket

一般：3,000円（当日3,500円）

大学生以下：2,000円

中学生以下：1,000円

Program

《24の前奏曲》Op.28より「雨だれ」

華麗なる大円舞曲 Op.18

スケルツォ第2番 Op.31 他





田原さえ

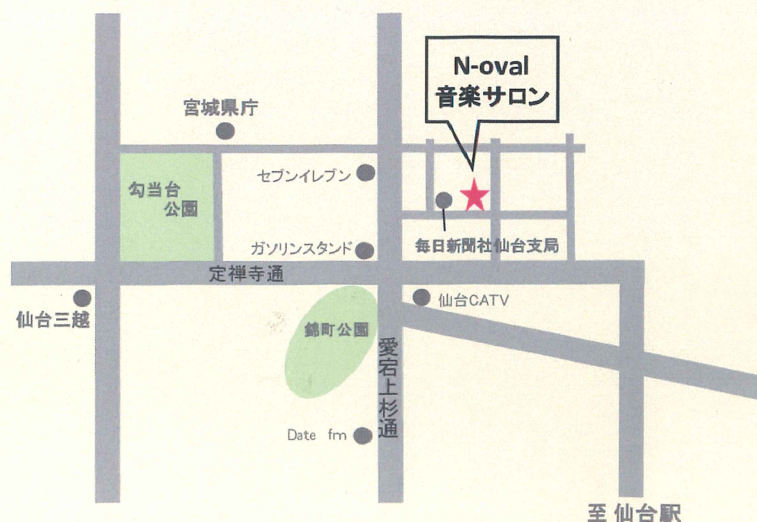
Saée Tahara

仙台市出身。武蔵野音楽大学・同大学院を経て、'90年ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学修了、オーストリア政府芸術修士を取得。同大学ではピアノ室内楽及びドイツ歌曲の解釈と伴奏法を専攻し、'88年にはザルツブルグにおいてG.スゼー氏のリサイタルでの伴奏者に抜擢された。帰国後はオーケストラとの協演をはじめ、ソロ、室内楽、伴奏と幅広い演奏活動を行っている。'92年以来、東京と仙台とで行うリサイタルは15回を重ねた。また、ザルツブルグでのI.ハッセ(フルート)とのデュオ・リサイタルや、ベルリン弦楽四重奏団、P.L.グラーフとの共演など国際的にも活躍中。2008年6月にはプラハ放送交響楽団との協演も行った。また、公開レッスンなどでの通訳も数多くこなしている。'78年、第22回全東北ピアノコンクール第1位及び文部大臣賞受賞。平成14年度宮城県芸術選奨新人賞及び平成29年度宮城県芸術選奨受賞。平成15年度には仙台市市民文化事業団主催による「Classic Live For You」のプロデュースを手掛けた。第2～7回仙台国際音楽コンクールでは、企画推進委員としてチャレンジャーズライヴのコーディネーターを務める。また、仙台バッハゼミナールの主宰やミュージックプロデュースMHKSを立ち上げるなど、仙台を中心に様々な音楽活動を展開し、若手の育成にも力を注いでいる。fmいずみでの番組『be A-live』では、毎月1回ゲストとして「田原さえの音楽ざんまい!」のコーナーに出演中。2010年12月に初のソロCD「それは、懐かしい時の始まり」を、またP.L.グラーフ氏とのライヴCD「コンチェルティーノ」(2013年6月)及び「リサイタル」(2018年12月)をリリース。同氏の著書『フルートの響きを豊かにする52の質問』翻訳(2021年7月)。現在、昭和音楽大学講師。(一社)ミュージックプロデュースMHKS理事。仙台バッハゼミナール代表。

アクセス

JR仙台駅より徒歩15分、タクシー約6分
地下鉄 勾当台公園駅より徒歩約10分

※駐車場はありませんので周辺の
コインパーキングをご利用ください。



至 仙台駅